

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

吉田町立中央小学校

## 【取組内容①】高学年における「自分で学ぶ子」の一層の推進（児童が単元構想を考える）

4 情報活用能力育成を目指す単元づくり【研修との関わり】

研修テーマである「自分で学ぶ子」の育成を目指し、「探究サイクル」を意識した授業展開を手立ての柱として取り組んできた。「探究サイクル」を意識して取り組んだことにより、自分で学習を進める力が育ちつつある。さらに、子供自らが学びを計画し、見直しをもって取り組んでいけるように、徐々に子供達に学びを委ねてきた。その1例として、課題設定（単元構想担当）情報収集（ICT担当）整理分析（授業進行担当・板書担当）まとめ・表現（話し合い担当）の役割を決め、自分の得意、力を付けたいという部に所属し単元の授業を自分で進めていけるよう取り組んできた。

本単元では、単元構想、授業進行担当が中心になって、誰かが付けたい力を付けてゴールまでできるようにするために、「体積マスターを目指し、クイズ大会を開催」と、各時間にマスター問題を取り入れたり、学んだことを生かして体積クイズを行ったりする単元のゴールを考えた。その単元構想を全体に提示し、各自の課題を設定した上で、授業を進めていく。

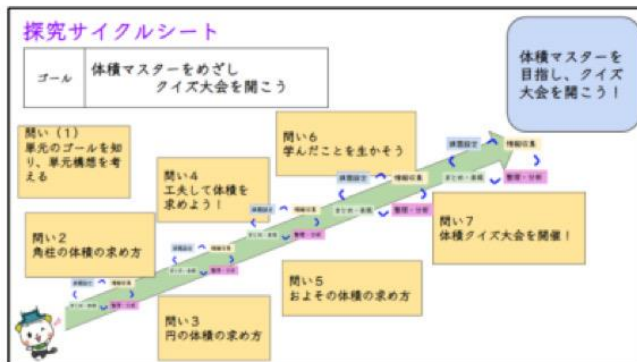
これまで4～6年生で学んだ求積の見方・考え方や5年生で学んだ体積、容積の求め方に着目して情報収集したり、整理分析したりしていく。そして、思考の過程や判断の根拠などをノートやICTを活用してまとめたり友達と関わり伝えたり話し合ったりする。また、自分の考えや判断の根拠などをノートやICTを活用してまとめたり友達と関わり伝えたり話し合ったりする。

さらに、学んだことを生かし、日常生活の中で活用しようとする一連の流れで、情報活用能力を育成できるようにしていきたい。

課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現	ふりかえり
<ul style="list-style-type: none"> <li>○提示された大きな課題を基に疑問や興味・関心に基づいて、自ら課題を設定できる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・課題を作るための情報収集と整理分析(Jamboard)</li> <li>・課題の共有(chat)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○複数の資料から必要な情報を取捨選択して収集できる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・図や表と文章をつなぐ(資料集や資料)</li> <li>・目的を踏まえ、方法を検討したり組み分けたりして情報を整理できる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>Jamboardでの情報収集</li> <li>○情報の信頼性や信頼性を判断し、適切に情報を活用することができる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・メディアの特性理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的を踏まえ、収集したものを基に、方法を決定したり組み分けたりして情報を整理し、そこから結論を導き出したりの因果関係を気づかたりすることができる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・問題の分解、分類する、結果の予測等(Jamboard)</li> <li>・メディアの特性理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手や目的、状況に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫(チャット等)してまとめることができる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・相手や目的、状況に合った方法で、より効果的なものとなるよう工夫(チャット等)して説明、発表できる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・説明、発表、対話の技法</li> <li>・メディアの特性理解(chat 交流)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決全体について学習内容と学習方法の両面から振り返り、自らの学習を評価・改善できる。</li> <li>&lt;中核となる方法&gt;</li> <li>・探究サイクルの構想みによる振り返り(スプレッドシート)</li> <li>・単元や学期レベルでの達成度の高い振り返り</li> </ul>

6年算数「体積」の学習でも、単元構想担当が考えた単元構想を基に、個々が課題を考え授業を行っている。

### 児童の考えた単元計画シート



本単元だけではなく、その他の単元や他教科でも同じ形のシートを使い、いつでも同じ流れで考えられるようにした。



45分間のタイムキーパ、司会、まとめ役まで全て子供が主体で行う。教師はあくまでも伴走者であり、サポート役に徹する。